

令和7年度9月役員会



議題

(1) 秋の主要事業について

ア、町内レクリエーションについて

イ、秋の全国交通安全運動について・・・9/21から9/30まで

ウ、赤い羽根共同募金について

エ、もちつき大会について

(2) 町会長会議の報告

(3) 各部報告

(4) その他

令和7年度9月役員会



議題

(1) 秋の主要事業について

ア、町内レクリエーションについて

10月5日(日)

出発午前7時30分出発 午後18時帰着予定 城南信用金庫付近

マザー牧場 バーベキュー 房総四季の倉(買い物)

大人5000円 小学生以下2500円 33名

令和7年度9月役員会



議題

(1) 秋の主要事業について

イ、秋の全国交通安全運動について・・・9/21から9/30まで

実施方法 交通部と各部役員、副部長、理事、地区委員で実施

9/21(日) 1区 AM10:00-11:00 会館集合 10:38 品川署激励訪問予定

以下AM8:30-9:00

22(月) 2区、24(水) 3区

25(木) 4区、26(金) 5区、27(土) 6区、29(月) 7区

30(火) 8区、9区

初日は日曜日ですが品川署激励訪問実施の為実施します。

その他23祭日28日曜日は実施しません

※当番日に出られない方は、他の日に振り替えても結構です。

※雨天の場合は中止です。

令和7年度9月役員会



令和7年

秋の全国交通安全運動

9月21日(日)~9月30日(火)

「世界一の交通安全都市
TOKYOを目指して」

～ 重点 ～

- 1 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- 2 ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進
- 4 二輪車の交通事故防止



品川警察署・品川交通安全協会



令和7年度9月役員会



議題

(1) 秋の主要事業について

ウ、赤い羽根共同募金について

1. 募集期間10/1（水）～10/31（金）まで

2. 納入袋の取り扱いについて

- ① 納入袋の「お取り扱い者署名欄」に集金者が署名、または押印をしてください。
- ② 各世帯に納入袋を配付し募金金額・お名前・ご住所を記入してもらってください。
(匿名希望は金額のみ記入してください。)
- ③ 集金の際には、納入袋に領収月日を記入し、領収証を渡してください

議題

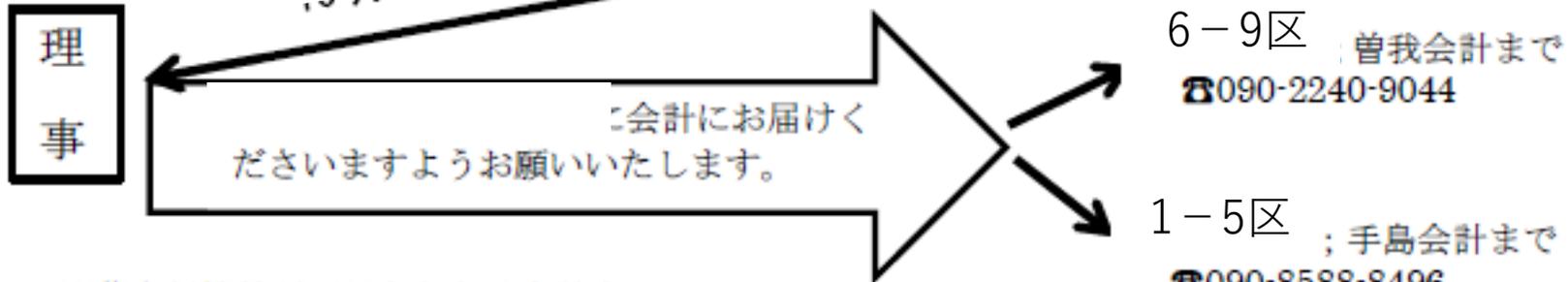
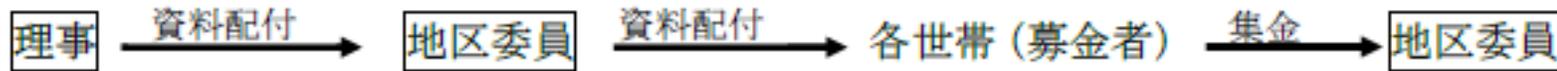
令和7年度9月役員会



ウ、赤い羽根共同募金について

集金要領

案内準備中



※募金封筒等が不足なときは会計まで

※余りました納入袋等は会計へお渡してください。

令和7年度9月役員会



議題

- (1) 秋の主要事業について
 - エ、もちつき大会について

11月3日実施予定

令和7年度9月役員会



議題

(2) 町会長会議の報告

秋の区政協力委員会における意見要望書の検討

令和7年度 意見書

● コミュニティバス大崎ルート運行要望

百反通りから区役所へ行くには、電車で大崎駅から大井町まで行き区役所まで徒歩となるルートとなるが大きく迂回することとなり時間も要する。また、健全な区民であれば徒歩、あるいは自動車、バイク、自転車で行くことは可能であるが、高齢者、障害者、ベビーカーを利用している子育て世帯などはタクシー等を利用せざるをえない。そのタクシーにいたっては近年、アプリでの配車予約が一般的となってきたおり利用しにくい状況でもある。

運行にあたり、当然相当な運営費が必要となり大きな利益は見込まれないであろうが、実際地方において、バス等でほとんど乗客がいなくてもかかわらず赤字覚悟で運行を続けている自治体がある。今回の大崎ルートの運行は、区が、営利目的ではなくコミュニティバスがないと困る人たちがいるからとの思いで推進していくべき事業である。

大崎ルートの運行により、区役所のみではなく大井町、目黒周辺の多くの住民の利便性向上も期待できる。営利目的ではなく区民の幸福につながる施策まさに「ウェルビーイング」につながる大崎ルートの運行実現を強く要望する。

令和7年度9月役員会



議題

(2) 町会長会議の報告

・ 災害時の安否確認方法の提案

大地震などの災害発生時に、共助の取組みにより町会会員の安否確認を効率的かつ簡易的にできるハンカチ掲示の活用について提案する。

具体的には、家族の無事を確認後、自宅の玄関やベランダ、物干しなど、外から見えやすい場所に黄色いタオル（またはハンカチ、バンダナなど）を掲げ、近隣の町会会員や巡回している町会防災部員などに自らの「無事」を知らせる。

そして、タオルが掲げられていない世帯、特に高齢者・障害者など自力で避難することが難しい区民（災害時要援護者）に対し安否確認を効率的かつ簡易的に実施できるため、より多くの人命救助に繋がることが期待できる手法となっている。

なお、過去の大災害でも実際に、近隣で声を掛け合いお互いの安否を確認する地域による助け合いの力によって、より多くの人々の命を救うことができた事例もあり、現在では既に横浜市（磯子区）をはじめ富士宮市、和歌山市などが取り組んでおり、自治体によっては「安否確認タオル」として市販化もされている。

品川区では「災害時の携帯トイレ」の配布実績があることから、今後は、この「安否確認タオル」を全世帯に配布できないか、ぜひ前向きに検討してほしい。

令和7年度9月役員会



議題

(3) 各部報告

総務部

秋の行事沢山あります。

会館管理部

会計

募金で集金したお金各理事さんを通して会計まで届けてください。

文化部

新敬老8名へ祝品を贈呈します。

青少年部

リクリエーション参加まだ間に合います。

防犯部

9/2 防犯パトロール実施しました。13名参加 9月28日(日)宿場祭り10月10日(金)防犯の集い開催

防災部

8/24(日)スタンドパイプ消火訓練実施しました 22名参加。11/2 防災訓練

今すぐできる防災アクション

厚生部

餅つき大会準備中です。

交通部

交通安全運動協力願います。

青少年対策委員

10/19(日)大崎第二地区運動会実施 於芳水小 11/22交流リクリエーション

今すぐできる防災アクション

もしもの時に困らないトイレの備蓄

地震などの災害では電気・水道・下水道などのライフラインが停止し、生活に大きな影響が出ます。中でも意外に見落とされがちなのが「トイレの備蓄」。東日本大震災では、発災から3時間以内に3割の人がトイレに行きたくなったという報告も。食料品・日用品等のほか、トイレも必ず備蓄しておきましょう！

災害時に起こるトイレの大混乱

トイレの備蓄が十分ではなかったらどうなる？「在宅避難」を例に時系列で見てください



発災当日

停電や断水で、自宅のトイレが使えなくなる

集合住宅では各住戸の排水管がつながっています。排水管の損傷に気付かずトイレを使うと下階で汚水があふれるおそれがあり、トラブルにつながることも。



3日目まで

避難所のトイレの衛生状態が悪化

家庭にある携帯トイレなどを使い切ると、避難所や公衆トイレなどに多くの人が集まり、適切な運用が難しい状況に。



4日～1週間

断水や配管修理の遅れも予想困難な状況が続く

復旧が進む一方で、地域によっては家庭の断水が続き、配管修理が遅れることも予想されます。災害用トイレの備蓄が底をつき、在宅避難が困難になる方も。

いざという時に備えて、日頃から災害用トイレを備蓄しておくことが大切

東京トイレ防災マスタープラン

■ とぎれないトイレ ～いつでも、どこでも、安心に～

首都直下地震の被害想定では、発災後1週間以内で最大約5万7千基のトイレ不足が想定されます。都では「東京トイレ防災マスタープラン」を策定し、区市町村との連携により、トイレ対策を強力に推進しています。

取り組みのポイント

- 災害時に必要なトイレを、適切な場所に十分な数量を確保する
→トイレ空白エリアの解消や人口に応じたトイレの必要数を確保
- 多様な避難者に配慮した、快適で衛生的なトイレの環境を整備する
→災害用トイレの運用ルールや点検方法の明確化

避難所・避難場所に避難者が殺到した場合、一層のトイレ不足や環境の悪化が懸念されるため、各家庭で災害用トイレの準備をすることが重要です。

トイレ不足による3つのリスク



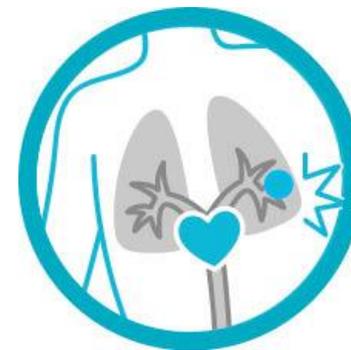
衛生状態の悪化

災害時は、トイレの清掃が行き届かず衛生状態が悪化するおそれがあります



感染症の発生・拡大

水洗トイレが機能しなくなると排泄物の処理が滞り、細菌やウイルスによる感染症のリスクが高まります。



エコノミークラス症候群

排泄物を我慢して水分や食事を控えると、栄養不足や脱水の原因に。さらに、長時間動かずにいると、血栓ができるエコノミークラス症候群を発症する危険もあります。

令和7年度9月役員会



議題

品川宿場祭りパレード 9月28日（日）AM11:45 品川区北品川1-22
北品川郵便局前集合 旧東海道青物横丁品川寺までパレード

しながわ地域安全のつどい 10月10日（金）13:00-15:00

きゅりあん8階大ホール 7名参加要請

防犯部優先

ゲスト アメミヤ



令和7年度9月役員会



議題

以上